

# 「栄養補給法について」

～口から食べづらい方へ～

浪打病院 管理栄養士 佐藤明日香

## 口から食べて栄養をとる事が理想的ですが...



食欲がない  
食べるとむせてしまう  
あまり量を多く食べられない



栄養不足となり免疫力が低下し  
病気にかかりやすくなってしまふ

個々の状態に応じて栄養補給法や食事形態を選択していく事が重要です

### 1. 栄養補給法の種類

**経口栄養**...口から食べて栄養をとる事

**経管栄養**...チューブを用いて栄養（流動食）を投与する方法  
消化管が機能している

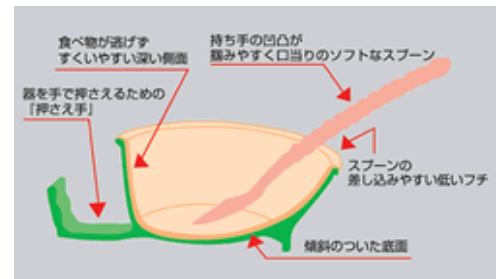
**静脈栄養**...静脈から栄養を投与する方法（点滴）  
消化管が使えない  
消化管を休ませる必要がある（腸閉塞など）

### 2. 経口栄養における課題と必要なアプローチ

思うように食事がとれない

・麻痺などによって食べこぼしが多くなってしまふ  
自助食器や滑り止めシート等を使用する。

・むせてうまく食べられない  
食形態の工夫（嚥下食への展開）



三信化工「でんでん」 参照

注) 但し、嚥下状態（飲み込む能力）が悪く  
誤嚥の危険性がある場合は、医師の指示の下、経管栄養  
や静脈栄養を検討する。



見た目の量の多さで食欲を失う、食べる事が負担だ

食事量を減らし、不足分は**栄養補助食品**や嗜好に合わせた間食で補う。



「食欲がなく食べられない  
が食べなくてはならない」  
という**精神的負担**



「全部食べられた」  
という**満足感**

